

県警本部長答弁：「ひったくり」犯の検挙、発生抑止対策をより強力に進めます

私の質問に対し、県警本部長は以下のとおり「ひったくり」対策について答弁を行いました。

1. 検挙対策の強化

現在、「ひったくり」事件が多発している場所等において、現場検挙活動を推進するなど、所轄警察署の捜査体制を強化します。

2. 予防対策

- ①多発している地区、時間帯においてパトカーによるパトロール活動を強化します。
- ②交番勤務員による警戒活動を強化します。

3. 市民への啓発活動

- ①ラジオのスポット放送やテレビの特需う番組の活用。
- ②多発地区の路面や電柱に注意喚起のシートの貼付、看板の設置。
- ③背後を警戒するための防犯広角ミラーの製作・配布。

4. 防犯呼びかけスピーカーの設置

中央区におきましては、音声で注意を呼び掛けるスピーカー22機が設置されているが、これに加えて28機を増設する。

〈一人ひとりができる「ひったくり」発生抑止策〉



狙われやすいのは女性の方で、

- ・人通りの少ない道を一人で歩いている人
- ・バッグを車道側に持っている人
- ・ケータイや音楽を聴きながら歩いている人



カバンは車道の反対側に！



カバンは肩掛けなど、
持ち方に工夫を！



人通りの少ない道、暗い道では
周囲に注意を払いましょう！



大きな声で助けを呼びましょう！
防犯ブザーを携行しましょう！



自転車の前カゴには防犯
ネットを付けましょう！

もしものときは、最寄りの交番、警察署に届け出ましょう！

- ・車両ナンバー、特徴を覚えておくと
被疑者検挙に有効です。

柏陵高校「自転車通学免許証制度」を県下に広げていきます



県立「柏陵高等学校」(南区)
が取り組んでいます「自転車通学免許証制度」
については、自転車事故防止、
自転車交通マナー向上など、子
どもたちに基本的な交通ルールを身に付けさせるとともに、自転車保険の加入を義務付けさせています。こうした取り組みを、県下の県立高校に広げていき、社会全体で自転車交通マナーアップにつなげます。

5月7日～8日、宮城県内の被災地を視察しました。



本年5月7日～8日、宮城県内の被災地を視察してきました。昨年の5月に続き、2度目の現地入りです。いずれの被災地でも復興にむけた障壁となっているのが震災廃棄物です。全国的な支援強化の必要性を感じました（詳細はホームページで）。

今年度「6月期」の『県政報告会』成功裡のうちに終了しました。



6/3、6/10、6/17、6/24の各日曜日、区内4公民館で「県政報告会」を実施しました。いずれの会場にも多くの方が参加して頂き、成功裡のうちに終了することができました。

次回は、11月期の開催となります。
是非ともご参加ください。